

学校評価の結果報告です

2月24日に学校評議委員の皆さんに、学校の取り組みを評価していただく会を開催しました。学校から説明をした後、学校が行なった自己評価が妥当かどうか、また来年度に向けた改善点についてご意見をいただきました。

評価・提言	学校の所見・改善策等
<p>○あいさつは学校だけが取り組んでいても成果に限られる。PTAと地域(ルックチルドレン)と連動して「あいさつ運動週間」を設けて取り組んではどうか。</p> <p>○ぐっすりデーとノーメディアデーを一緒にした取組を試してはどうか。家庭でできることを家族で話し合い取り組んでみてはどうか。</p> <p>○コロナ禍であっても子どもたちは落ち着いた学校生活が送れている。学校が落ち着いてくると学力は向上する。一人一人にきめ細やかな指導をすることで今後につながる。</p> <p>○コロナ禍でPTA活動もままならない中、「地域とともにある学び」が今後の大命題だと思う。状況が落ち着くまでしばらくかかると思われるが、地域でどのような後方支援ができるか考えたい。</p> <p>○学校にタブレットが入り授業の在り方が今後変わってくる。支援員等、授業のサポート体制がもう少しとれたら先生方の負担が軽減されるのではないか。</p> <p>○先生方には自信を持って、いろいろな課題やしんどさを乗り越え次年度も頑張りたい。</p> <p>○集団が大きいので色々な考えがあると思うが、方向性を定め進んでいくことが大切。</p>	<p>→子どもたちのあいさつは成果が出ているところもあるので、引き続き学校での取組を継続していくとともに、家庭や地域と連動した取組を今後行っていく。学校運営協議会の中でできることを話し合う。</p> <p>→様々な端末機器が子どもたちの生活の中に入り込み生活習慣に影響を及ぼしている実態がある。PTA活動の中の重要な取組として保護者啓発を行っていく。</p> <p>→委員の皆様から学校が落ち着いてきたという評価をいただいているが、これが目標ではない。これを基礎にして、豊かな学び、確かな学び、地域とともにある学びを積み上げていく取組を来年度は行っていく。</p> <p>→コロナの状況がどのようになるかを見ながらにはなるが、地域全体が学びの場であるにとらえ、地域に出かける学習、地域の方をお招きした学習、地域に愛着を持ち地域の方とつながる学習を進めていきたい。</p> <p>→ICT支援員を湯梨浜町は配置しているが、常時学校にいるわけではない。支援員の要求を引き続き行うとともに、タブレットを使う授業のサポートをボランティアで対応できないか今後検討していく。</p> <p>→来年度もコロナ対応をしながら、新しい教育の創造に向け取り組んで行かなくてはならない。親も教員もしっかり話し合い、同じ方向を向いて子どもを指導しないと成果は限られる。保護者と連携をとり一緒になって取り組む活動を行っていきたい。</p>

【保護者アンケートに答えて】

- ・紙面で片付くことは紙面でお願ひしたい。参観日の回数も減らしてほしい。
→会議の精選や紙面での報告なども今後検討していきたいと思ひます。参観日は学校での様子を見ていただく大切な機会だととらえています。来年度も例年の回数を予定しています。
- ・不登校・発達障害等に対するフォロー体制を整えてほしい。→できる体制でフォローしていきます。